

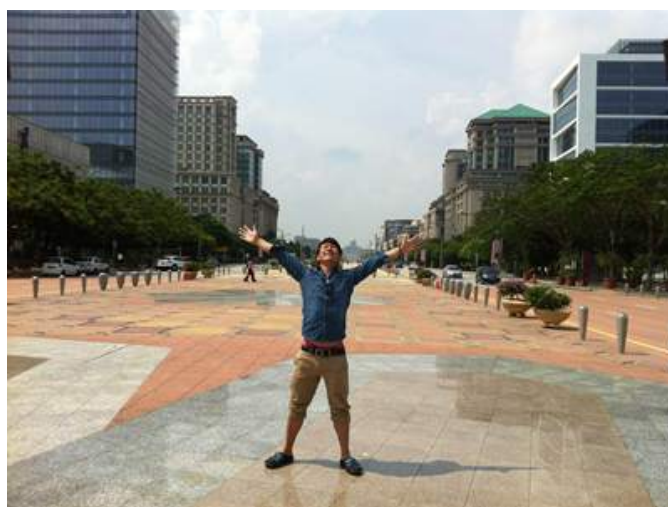
「Putrajaya regional development」

訪問日時：8月21日

移動手段：観光バス

訪問場所：連邦直轄領、モスク

プトラジャヤはマレーシアの行政新首都として開発中の連邦直轄領で、首都クアラルンプールの南方約25kmに位置する。



(プトラジャヤ郊外)

ここには首相官邸や裁判所、法務省などがありこれからの新首都のふさわしく感じた。このように2車両線が奥まで広がっておりとてもきれいな風景が見られる。



(国王の住まい)

礼拝の時間でなければ誰でも見学ができ、入り口で女性は肌を見せてはいけないとのことで、紫のマントのようなものを着せられていた。また髪の毛も見えないようにスカーフのようなもので隠していた。

魅力的だからこそ見えてはいけないとのことで、イスラム教の教えを感じた。靴を脱いでひんやりと気持ちのいい床であった。とても広い礼拝の場所には入れませんが、大きく扉を開けてあるので中の美しさは堪能出来きた。静寂とステンドグラスと透かし彫りの美しさは心洗われる感動であった。

1日に何度もお祈りの時間があるそうで、時計はその時間を表しているのかなと感じた。仕事をしていて無理な人は朝夕だけのお祈りで済ますこともあるそうだ。



(モスクの前にて記念撮影)

プトラジャヤはもっと発展していく地域であるので今以上の観光客などで知ってもらいこれからの期待したい。

[タグ]

シンガポール モスク 発展都市 連邦直轄領 景観